

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第7回西脇市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	令和元年10月3日（木） 午後2時00分～午後3時30分
開催場所	西脇市民会館 第1会議室
出席委員の氏名又は人数	12人
欠席委員の氏名又は人数	3人
出席職員の職・氏名又は人数	4人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	1 西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>1 開会</p> <p>○資料の確認</p> <p>○新委員の紹介・あいさつ</p> <p>○会長あいさつ</p> <p>地方創生について、国全体では東京一極集中が加速するなど、必ずしもうまくいっていない中、西脇市の取組は比較的的成功していると思う。地方都市が果敢に調整し、実績を積み上げているということで、素晴らしいと感じている。社会状況が変化していく中、国でも第2次総合戦略に着手されている。国の動向にも注視しながら、巧みな提案を行い、地域経済の活性化を、そして西脇市らしい地方創生を行ってほしい。</p>
事務局	
事務局	
会長	

<p>会 長</p>	<p>○会議成立報告 委員数15名中、本日の出席委員数12名により、本日の会議が成立する旨を報告</p> <p>2 まち・ひと・しごと創生会議の運営について</p>
<p>事務局</p>	<p>○資料1に基づき、事務局から説明 (質疑・意見なし)</p> <p>3 西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p>
<p>事務局</p>	<p>○資料2、3、4及び参考資料に基づき、事務局から説明</p>
<p>会 長</p>	<p>西脇市の第1次総合戦略の取組はうまくいったととらえている。委員の皆さんには、第2次総合戦略に向けて新たな提案をいただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>西脇市で播州織関係の仕事をしているため、我々が頑張らなければならないと思っている。しかし、繊維関係の仕事が減っているのも事実である。日本国内の衣料品は9割以上が海外製品という状況であり、国内産へと転換することは難しいと考えている。また、衣料品は世界的に売れていないため、どうすれば良いか模索している状況である。</p> <p>播州織は素材産業のため、消費者へ発信しにくい状況であったが、現在はできるだけ発信していきたいと考えている。デザイナーが西脇市に来て、企画や提案、商品の発信を行っている。大阪で行われた展示会等への出品などを続ける中で、徐々に購入者の反応がよくなっていると聞いている。近々、NHKの教育テレビでも取り上げられる予定であり、一定の反響があったと考えている。</p> <p>これまでの西脇ファッション都市構想の取組により、デザイナー関連では全国から応募がある状況であるが、織物の生産や営業に対しては応募がない状況である。若者もファッションへの関心はあるが、産地全体の思いと結びつけることには難しさを感じている。</p> <p>また、国などの支援によって、都心部等で地方の商品等を積極的にPRできるようになったが、まだまだ試行錯誤</p>

	<p>を続けている状況である。素材をつくるところから最終製品の創出まで、取組を継続できれば良いと考えている。こういったところにお金をかけていただけると嬉しく思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>NHKで取り上げられるなど、マスコミによる影響は大きいのではないかと思う。外から見てみると、これまでの播州織とは雰囲気が変わってきたのではないかと感じるがどのような印象を受けておられるか。</p>
<p>委 員</p>	<p>何かが大きく変わったとは感じていない。播州織は素材産業であり、アパレルのようにブランドが出るわけではないため、播州織が消費者に浸透していないと思っている。また、実際に関わっている我々も旧態依然のところがあると考えている。</p> <p>一方で、地方創生の取組によって話題性が上がったと感じている。話題性が、一足飛びに収益につながるわけではないため、今後、産業として成り立つかという点で課題が残っている。</p>
<p>委 員</p>	<p>これまで県内のホテルで観光業に従事していた。昨年の4月から西脇市に着任し、市内を出歩いたが、観光資源の掘り起こしが不十分と感じている。</p> <p>自身の出身地である淡路島は、海に囲まれており台風の影響を強く受けるが、西脇市は大雨が降っても通勤できないほどではないなど、台風等の影響を大きく受けないため、住みやすいと感じている。</p> <p>観光については、日本へそ公園にあるテラ・ドームで星を見ることができることが、都会にないものとして、魅力的なコンテンツであると感じている。市外から訪れる人には、市内にお金を落としてほしいため、滞在してもらうことを考えなければならない。</p>
<p>会 長</p>	<p>西脇市には魅力的な資源がたくさんある。また、それらは昔ながらの、地に足のついた資源と感じている。それらを組み合わせ、西脇市らしい観光へと昇華させてほしい。仕組みや仕掛けを提案していく時期にきていると思う。</p> <p>現在、防災系の大学院で仕事をしているが、臨海部にある事業所から、第二工場を内陸部に設けると聞いた。南海トラフ地震が迫っていることから、安全であるということ</p>

<p>オブザーバー</p>	<p>が、今後、セールスポイントになるのではないかと思います。</p> <p>主に中小零細企業への融資業務を行っている。全国 152 支店あり、それぞれが地方の創生会議に参加させてもらっている。平成30年度までは「まち・ひと・しごと創生貸付利率特例制度」というものがあり、地方で若者を雇用する方や東京から地方に移転する方などに貸付を行ってきた。本年度からは、さらに事業を拡大し、女性や若者、シニアの創業なども支援している。</p> <p>地方に人を呼び込むU I J ターンが求められており、現在は、商工会議所や西脇多可料飲組合等と密接に連携している。にしわき創業塾にも講師として参加させてもらう予定である。また、創業だけではなく、播州織や播州ラーメンなど、地場を下支えすることや、新しい企業を呼び込むような取組を行っている。その他にも、農林関係でバイヤーと商談する機会を設けたり、東京で中小企業を対象にしたビジネスフェアを行うなどの取組を実施している。</p> <p>昨年、播州織のワイシャツを着て会議へ出席した。品質は良いのにそこまで高価ではないということで、多くの人が興味を持っていた。そういった小さな情報発信もしていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>地域の魅力発信が重要だと考えているが、北播磨県民局管内は特に弱いと思っている。地域に良いものがたくさんあるため、県民局としても積極的に情報を発信していきたいと考えている。</p> <p>先日、日時計の丘公園に宿泊したが、非常にきれいで良い施設だと感じた。近くにはフォルクスガーデンもあり、今年度には酒蔵も建設予定となっている。魅力ある観光づくりとしてのコンテンツがあるため、引き続き付加価値の高い観光を目指せば良いと考えている。</p> <p>資料3の5ページに記載のある「市の窓口・施策を通じた市内定着者数」は、平成30年度時点で102人となっている。これは移住者が102人ということか。</p>
<p>事務局</p>	<p>西脇ファッション都市構想に関連するデザイナーや空き家バンクを活用した転入者、その他の市の制度を活用された移住者が基本であるが、支援制度を活用して市内に定着した市民も含んでいる。</p>

<p>委 員</p>	<p>西脇市は兵庫県の就農フェアにも参加していたと記憶しているが、農業分野の移住者の状況はいかが。</p>
<p>事務局</p>	<p>西脇市は山あい集落が広がっているため、近隣の市町に比べて農地が狭い状況である。農業では、スイーツファクトリー支援事業として、イチゴ農家の育成等に力を入れている。農業大学校への訪問なども行い、数名の定着があった。</p>
<p>委 員</p>	<p>人口の増減等について説明いただいたが、企業の流出も懸念している。企業が流出すると従業員も一緒に流出してしまうため、人口減少が加速すると思う。金融機関も事業所数、従業員数ともに減少の可能性がある。</p> <p>人口減少への対策は、流出を減らすか、流入を増やすかのどちらかである。流出を減らすには、大学や専門学校を誘致するか、西脇市から大学に通うことができる交通を導入するかのどちらかである。さらに、市街化調整区域の在り方についても検討してほしいと思う。</p> <p>田舎から神戸の大学へ進学し、仕事で長く東京に住んだ後、昨年度から西脇市に着任となった。長く東京に住んでいたが、東京には住みたくて住んでいるわけではなかった。西脇市に着任し、今は西脇市に住んでも良いかなと思っているが、東京に住んでいた時には西脇市を知らなかった。移住には、「メリット・目的・仕事」がキーワードであると思う。</p> <p>次に、流入を増やすことについてであるが、数字で明確に表れているのは外国人である。単純に数を増やすことを考えるのであれば、例えば市外で働いている外国人も西脇市に受け入れるといったことがある。外国人の流入が増えていることに対する行政の意見を伺いたい。</p> <p>他の委員からもご意見があったが、田舎であることを受け入れ、それを生かすことが重要であると考え。産業、観光、レジャーの3つが揃わなければまちは活性化しないと思う。</p> <p>淡路島で海岸を散歩していると、近所に住む人がバーベキューを始め、そこに観光客も集まり、みんなでバーベキューをしているような状況になり感動した。また、同時に西脇市でも実現できるのではないかと思った。西脇市民が</p>

	<p>近隣のレジャー施設にバーベキューに行く状況をもったいないと感じている。河原でバーベキューができる場所を示したマップ等を作成したら良いのではないか。また、例えば国道 175号線から見える場所で、煙が出ているとそれだけで宣伝になる。</p> <p>日時計の丘公園はすばらしいと思う。他にも、無人でトイレ、電気、水道がない施設もある。今の若者もキャンプセットを持っており、そういった場所も魅力を感じている。また、有名アウトドアブランドに運営を委託するもの良いと思う。</p> <p>まずは知ってもらうことが大切で、その後、勝手に有名になっていくということが良いと思う。</p>
会 長	<p>西脇市には隠れた資源がたくさんある。これらが一皮剥ければ良いと思う。</p>
委 員	<p>前回の創生会議から、市内に大学がないことについて考えていた。自身の子には若いうちにアメリカに行かせたいと考えており、現在、ホームスクーリングという形で通っている。ホームスクーリングでは、何度か学校に行く必要があるが、自宅にいながら単位を取得することができる。このような制度が日本でも一般的になると西脇市に住んでいながら勉強ができるため、人口流出を防ぐことができるのではないか。</p> <p>アメリカは、国土が広く、通学が難しい子どももいることからこういった制度が充実、普及している。日本でも、様々な理由から学校に通えない子どもがいるため、このような制度は多くの子に選択肢を与えることができると考える。個人よりも行政が発信すると安心感が出るため、行政に考えていただきたい。</p> <p>次に、西脇市の自然についてであるが、海はなくとも、山、川、そして星が見える空がある。星まつりを楽しみにしている子や、川の近くでバーベキューを楽しむ人々もおり、そういう雰囲気の良いなと感じた。また、数年前の台風以降、河川整備が進んだが、昔は魚釣り大会もあり、楽しかった記憶がある。</p> <p>また、播州織については、西脇高校生が様々な取組をされている。子どもを対象にしたファッションを制作し、キッズモデルを募るなど、西脇市でももっとみんなが楽しめ</p>

	<p>る催しができるのではないかと思う。</p> <p>先日、丹波篠山市を訪れたが、観光地という雰囲気を感じた。西脇市にも様々なコンテンツがあるが、観光地というイメージはないように思う。一方で、5月の播州織博覧会はとても盛り上がり、夏の織物まつりでも、多くの若者を目にし、どこから来たのだろうと驚いたところである。また、親戚が都市部に住んでいるが、やはり西脇市が一番好きだと感じている。この雰囲気を楽しんでもくれる人が西脇市に来てくれたら嬉しく思う。</p> <p>その他にも、先日改修工事が終わった西脇小学校に映画のロケを誘致することに力を入れたり、多可町のマイスター工房のように、50歳代くらいの元気なおばちゃんを選んでスターにするといった取組を行ってはどうかと考える。</p>
<p>会 長</p>	<p>仕組みや制度を考え、イベントに結び付けてもらえば良いと思う。若者や子どもを巻き込むことは重要だと思う。播州織は、子どもの学びにも、世界ともつながることができると思う。西脇市で教育を受けることができるという選択肢を増やすことも重要と思う。</p> <p>島根県海士町の「ないものはない」は有名であるが、長年の取組の結果である。西脇市はそこまで頑張らなくても良い構図をつくれるのではないかとも思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>自身は西脇市に生まれ、育っており、皆さんの意見を嬉しい気持ちで聞かせていただいた。西脇未来予想図の会として活動しており、出会いのパーティー等を行っている。出会いのパーティーでは、40人の男女に出席いただき、おおむね10組がマッチングしている状況である。市役所が窓口となっていることによる安心感や、会場が西脇ロイヤルホテルである特別感によって成果が挙げられていると思う一方、結婚まで至らない点、追跡調査ができていない点が課題となっている。</p> <p>三木市では、スタッフがマッチング相手を選び、個別に引き合わせて成果を挙げているが、そこまではなかなか難しく感じている。これまで、西脇未来予想図の会として10年間活動してきたが、閉塞感も感じており、新しい取組の必要性も感じている。</p>
<p>委 員</p>	<p>東京に住む息子の子どもから「おじいちゃんの家はどう</p>

	<p>して真っ暗なの？」と聞かれ、常に明るい東京との違いを感じた。また、星の観察ができるテラ・ドームについて、改めて良い施設だと感じた。</p> <p>もう1人の息子も、神戸の大学に進学した後、就職して西宮市に住んでいる。休日に西脇市に帰らない理由を尋ねると、「何もない。遊ぶところがない。友達もいない。」と返事が返ってきた。20代の男の子にとっては魅力を感じにくいまちなのだと思った。</p> <p>息子たちを見ていると、仕事がなく、通勤するには遠いことが課題と感じる。</p>
<p>会 長</p>	<p>西脇市に限らず地方都市共通の課題といえる。地方から都市部へ、そして東京へというステップは象徴的である。</p> <p>私の子どもは、地元には帰らないと言って東京へ行き、やはり東京は面白いと言っていた。しかし、35歳になった頃、東京はもういいから地元に戻ろうかなと言っている。</p>
<p>委 員</p>	<p>比延地区に住んでいる。田舎であるが、山に囲まれたとても良いところで、上高地のようだと思っている。</p> <p>西脇市に大型商業施設がないことは、やはり大きい問題だと思う。お年寄りも、他市に行かなければならない状況で、ささやかな日常雑貨を買うにも困っている。商業施設が新庁舎周辺にできると聞き、期待している。</p> <p>昔は世話焼きのおばさんがおり、どのような人でも結婚をしていたように思うが、今は田舎でも独身の方が多いように感じている。</p> <p>西脇市には豊かな自然や西脇工業の駅伝、へそのまちであるということがある。西脇市を知らない人でも西脇工業の駅伝は知っている。また、へそのまちであることについても、富良野市と提携するだけでなく、テラ・ドームや美術館を生かした取組ができないかなと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>西脇市は観光地ではないと思っている。ただ、住むには良いところだと思っている。先日県外から友人が訪れた際には、播州ラーメンを食べに行き、満足してもらったと思うが、他の案内先には困った。</p> <p>人口減少については、西脇市だけではなく、全国共通の課題で、小さなパイの取り合いだという印象を受けた。仕事で東京にも行くが、東京は人が過密すぎるため、住みや</p>

	<p>すいところではないと思う。また、例えば災害時等に、タワーマンションに住む人たちが一斉に 119番をかけることを想像すると、ぞっとする。</p> <p>これからは、若者が宝物になる時代である。自身は40代であるが、早く世代交代しないといけないと思っている。日本は年功序列の風習があるが、若者が住みやすいように、世代交代していくべきである。また、男性社会である点もよくないと思う。仕事でも、若者や女性にチャンスを与えることを意識している。</p>
<p>会 長</p>	<p>若者にどのようにチャンスを与えるか、ぜひ考えていただきたい。西脇市には西脇市のアプローチの仕方があると思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>このように、たくさんの意見が出るのがすごいことだと思う。地域には地域の強みがあると思う。西脇市はへそのまちであり、日本の中心でイベントをやりつくすといったことをしてもいいのではないか。また、イベントでは若者に盛り上がってもらうため、運営にも若い一般の人が入らなければならないと思う。やるからにはどういう形で盛り上げるか考えてもらえると良いと思う。</p> <p>本日は様々な意見が出たが、例えば「釣り」であれば、播州釣針があり、有名な企業もある。釣り大会もできると思う。また、「バーベキュー」であれば、黒田庄和牛がある。様々な展開があると思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>前回は播州織について話をさせていただいた。神戸新聞社が神戸ファッション美術館の管理運営を行っており、今年6月には、コシノヒロコ氏のファッションショーが開催された。この時、モデルは一般公募の100人であったが、多数の応募があった。やはりコシノヒロコ氏はすごいと思うと同時に、一般の方がモデルとして参加していることが大切だと感じた。</p> <p>外国人の流入が増えているという説明があった。外国人の方々はSNSで発信しており、それは日本国内だけでなく世界に発信している。その方たちを大切にすることが大切ではないか。施策として必要だと思う。</p> <p>新聞社の販売店会議というものがあり、若者が新聞を見ないことについても議論したところである。若者が新聞で</p>

<p>会長</p>	<p>はなくネットを見ていることは致し方ないが、発信の仕方を考えていかなければならないと感じている。おそらく、若者志向になってないことが原因だと思うが、行政の方にはそういった視点で考えていただきたい。</p> <p>加西市の会議にも出席しているが、高校生らを集めて意見を出し合うといったことをされている。若者にとっても出した意見が反映されると励みになるため、参加できるという環境をつくってほしいと思う。</p> <p>イベント等、行政が実施しているという構図はよくないと思う。色々な人が関わっていることが大切だと思う。ラグビーのように、とにかく全員で1つに向かうことが大切である。市民の方を多く巻き込むことは難しいが、これまでうまく取組を展開されていると思う。</p> <p>資料4に、第2次総合戦略の骨子素案を示していただいている。整理されているが、平板な印象を受ける。これまでの取組から次の段階へと展開するときであり、はっとさせるような提案がほしい。日本全国で、若者にとって魅力のあるまちをPRしている。例えば、西脇市に転入して起業する方を徹底的にサポートするといったことがPRになると思う。規制緩和と条件整備が重要だと考える。</p> <p>西脇市は産業で発展したまちである。産業は、規制を越えて発展するものであり、大胆な規制緩和や規制の再編成が必要と考える。多くの場合、既得権を持っている人がいるため、なかなか踏み込めないと思うが、そこに一步踏み込んでほしいと思う。新たな配車サービスや民泊など、日本ではあまり定着していないが、そういったところに若者のチャンスがあると思う。権利を奪うわけではないが、経済界等と調整しながら、既得権と新たな仕組みを両立させるような、一步踏み込んだ提案をしてもらいたい。</p> <p>今の若者は、お金よりも何がおもしろいかを気にしていると思う。それは、チャンスがあるかどうかということだと思う。西脇市がチャンスのかたまりだということを若者に見せていくことが大切であると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 その他</p> <p>○今年度の予定について事務局から説明</p>

事務局	<p>5 閉会</p> <p>○事務局あいさつ</p> <p>本日いただいたご意見は、まさに地方創生のベースである「地域に今あるものを生かす」という趣旨であったと思う。この点はぶれないよう、次期総合戦略の策定に向けて検討を進めていきたい。</p> <p>人口対策については特効薬がない中、交通インフラや住宅用地などの地理的条件は厳しい面が多い。一方で、播州織やイチゴといった今ある資源を大切にしていきたいと考えている。また、若者へのアプローチが重要とのご意見もたくさんいただいた。若者を対象にアンケート調査を行うと、都市部への憧れが強いことも事実であるが、西脇市が好きという意見も多くいただいている。現在は、「市長ふるさとを語る」として、市長が小中学校へ出向いて西脇市の良いところを紹介するような授業も実施している。こういった取組を通じて、一度市外へ転出してもまた戻ってきたくなるような施策を実施したい。</p> <p>本日は様々なご意見をいただいたが、その中でもまちが元気になるためのご意見をたくさんいただいたように感じている。まちの姿が大きく変わる取組としては、新庁舎・市民交流施設の移転も控えており、これを契機にするとともに、内部の視点と外部の視点の両方を大切にしながら取組を進めていきたい。</p> <p>(閉会)</p>
問合せ先	<p>西脇市都市経営部次世代創生課</p> <p>TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>